

平成25年度前期選抜 学校独自検査

出題のねらい

宮城県仙台第二高等学校

(作文検査)

【小論文Ⅰ】

中学校段階で身に付けていると思われる「社会」の基礎学力、正確な知識、文章による表現力をみた。

第一問（おもに地理分野）

自然地理に関して日本の気候を取り上げ、日本の気候環境に大きく影響を与える自然的要因と人為的要因について、さらに今日的な課題である地球規模の環境問題についての設問とした。

基礎的・基本的知識を問う問題に加え、地理的な思考力・判断力及び雨温図やグラフの読み取り、模式図の描写によって、地理的な技能をみた。

第二問（おもに公民分野）

大日本帝国憲法についての資料を示し、これをもとに大日本帝国憲法の特徴（主に歴史分野）を確認させた。次に民主政治の実現において求められる憲法の特徴（主に公民分野）を、大日本帝国憲法の特徴と対比させながら述べさせ、論理的に表現する力をみた。

第三問（歴史分野）

世界恐慌によって経済的打撃を受けた日本が、その後の日本型ファシズムを醸成していったことを考慮し、まずは世界恐慌後のブロック経済についての説明をさせた。次に資料を示し、世界恐慌後の日本のあゆみについて問うた。農産物の価格の下落による農村の不況と飢餓が、政治や政党に対する不信・不満を増大させ、軍による直接行動や対外拡張（大陸への進出）へと結びついたことを書かせる設問とした。

【小論文Ⅱ】

ヒキガエルという身近な生物を題材にしながら、論理的思考力を問う内容とした。考えたことを的確に表現する力、資料から読み取れる内容を適切に把握する力、資料文の仮説を理解して結果を推測する力及び実験結果の資料から論理的に正しい結論を導く力をみる。暗記ではなく、常日頃から中学校教科書にある調べ物学習や考察問題などにしっかりと取り組み、物事をよく考える習慣を身に付けてほしい。